

佐渡支部会員研修会 報告

1. 日時：平成29年9月10日（日）10時30分～15時
2. 会場：金井コミュニティセンター 2階 大会議室
3. 参加者：24名（内、会員外参加者：4名）
4. 内容：

*今年の研修会は、在宅医療（栄養）推進事業の一環で実施しました。

①：佐渡市における高齢者の現状について

講師：佐渡市役所高齢福祉課 保健師 濱田 香津恵 様

佐渡市の人口が減少していますが、75歳以上の人口はそれほど変わっておらず、支えていく年齢の人口が減少してしまっています。高齢者を支援する介護施設は今より2割増えると推測されていますが、病院は増えないので病院にも施設にも入れない「介護難民」の課題が残るそうです。



② 新潟県栄養士会の在宅ケア事業について

講師：新潟県栄養士会 栄養ケアステーション 牧野 令子 様

③ 在宅訪問の実際について

講師：新潟県栄養士会 栄養ケアステーション 川村 美和子 様



平均寿命はこの先も延びると予測されており、健康で長生きするには、フレイル・サルコペニア・低栄養を早期から予防する事が必要です。メタボ世代とロコモ世代は共に「栄養」がキーワードになっており、通院困難な方のために在宅ケアを推進していく事が必要であるそうです。

④ 在宅訪問栄養食事指導について質疑・応答

⑤ 在宅訪問の歯科診療について

講師：まもる歯科 院長 渡部 守 様

歯科口腔から見た、低栄養・フレイル・サルコペニア予防に繋がる「口から食べる栄養」と、加齢に伴い摂食・嚥下に障害がおこること、アルブミン値だけでは低栄養の指標としては確実性に欠けるというお話でした。実際に嚥下の映像を見ながら誤嚥がおこる状況を、わかりやすく説明して頂きました。

